

令和5年度年報

大津の療育

やまびこ

<療育の概要・資料編>

(令和4年度版)

大津市立やまびこ総合支援センター やまびこ園・教室

大津市立北部子ども療育センター わくわく教室

大津市立東部子ども療育センター のびのび教室

## はじめに

大津市では、子ども一人一人の発達に応じ一貫した支援体制づくりを目指して、療育、保育、教育の充実を図り障害児支援の強化を目指しています。令和3年3月に策定した「おおつ障害者プラン」〈大津市障害者計画、大津市障害福祉計画（第6期計画）、大津市障害児福祉計画（第2期計画）〉で示された将来像の一つ、「一人一人が尊重され、だれもが心豊かに暮らせる共生のまち“大津”」をより具体化していくために日々の療育実践から明らかにしたことを踏まえ、切れ目のない支援の提供を行っています。

大津市が1973年に親子教室からはじめた療育も今年で50年目を迎えました。その間、脈々と大事にされてきたことは“人を信頼する心”です。通う子ども達が違っても、時代が変わっても、療育の中で自分らしさを認められたり、大好きな人ができたり、安心して自分を表現したりしながら、“（自分も含めて）人を信頼する心”が育まれてきました。また、保護者が“人（特に我が子）を信頼する心”を育み、この先の子育てを仲間や支援者と共に営んでいきながらも、〇〇さんの保護者というだけではない一市民として自身の人生を大切に生きる、その土台づくりをすることもずっと大切にされてきています。そして、50年目の今年も“人を信頼する心”が、療育に通う子ども達や保護者にしっかりと育まれています。

見学に来られた方が「長らく大津に住んできたが、大津市がこんないいことをしている（子どもの発達保障と保護者支援を丁寧に行っている療育という場がある）ことを知らなかった。これからもしっかりと税金を納めようと思う」と話され、改めて療育が国の制度や行政、市民の暮らしと密接に繋がっている事業であることを実感し、責任の重みを感じます。

大津市では、令和6年度での3療育全てのセンター化実現を目指し、現在、東部子ども療育センターの拡張整備工事を行っているところです。0歳児から切れ目のない質の高い支援を目指し充実を図る上では、大津方式を基盤に、障害福祉や母子保健・乳幼児健診・療育・保育・教育機関の更なる連携により、発達支援のシステムを再構築する必要があり、その実現に向けて動き始めたところです。これからも市民ニーズを把握し、地域や関係機関と連携を図りながら、相談支援や療育だからこそ出来ることにより一層の努力を重ねてまいります。

さてここに、令和4年度の大津市の療育の概要と資料をまとめました（令和5年度年報概要・資料編）。市民をはじめ多くの皆さまに説明責任を果たすべく、是非ともご高覧いただきますようお願い申し上げます。

令和5年7月  
やまびこ園・教室  
園長 小川 ことゑ

# — 目 次 —

はじめに

## 第 1 部 『大津市の療育の概要』

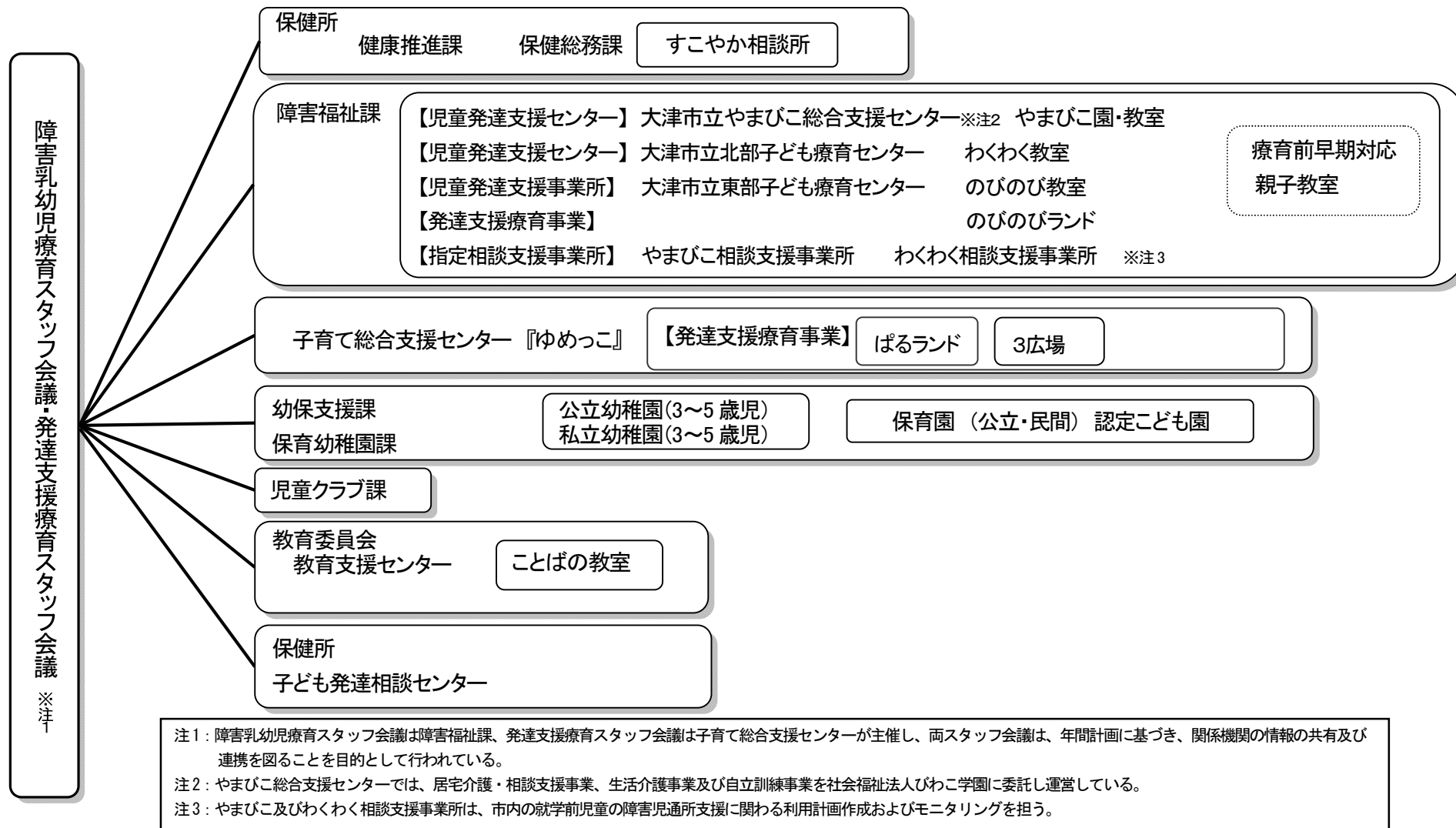
1	組織と役割	1
2	沿 革	3
3	令和 4 年度の事業概要	4
4	令和 4 年度 3 療育のまとめと課題 【共通の取り組み】	6
	保育所等訪問支援事業	
	療育前早期対応親子教室	
	療育体制の整備	
	療育実践報告・交流会の実施	
5	令和 4 年度在籍児の状況	9
	(1) やまびこ園・教室	
	(2) わくわく教室	
	(3) のびのび教室	
6	進路指導	11
7	相談支援	13

## 第 2 部 『資 料』

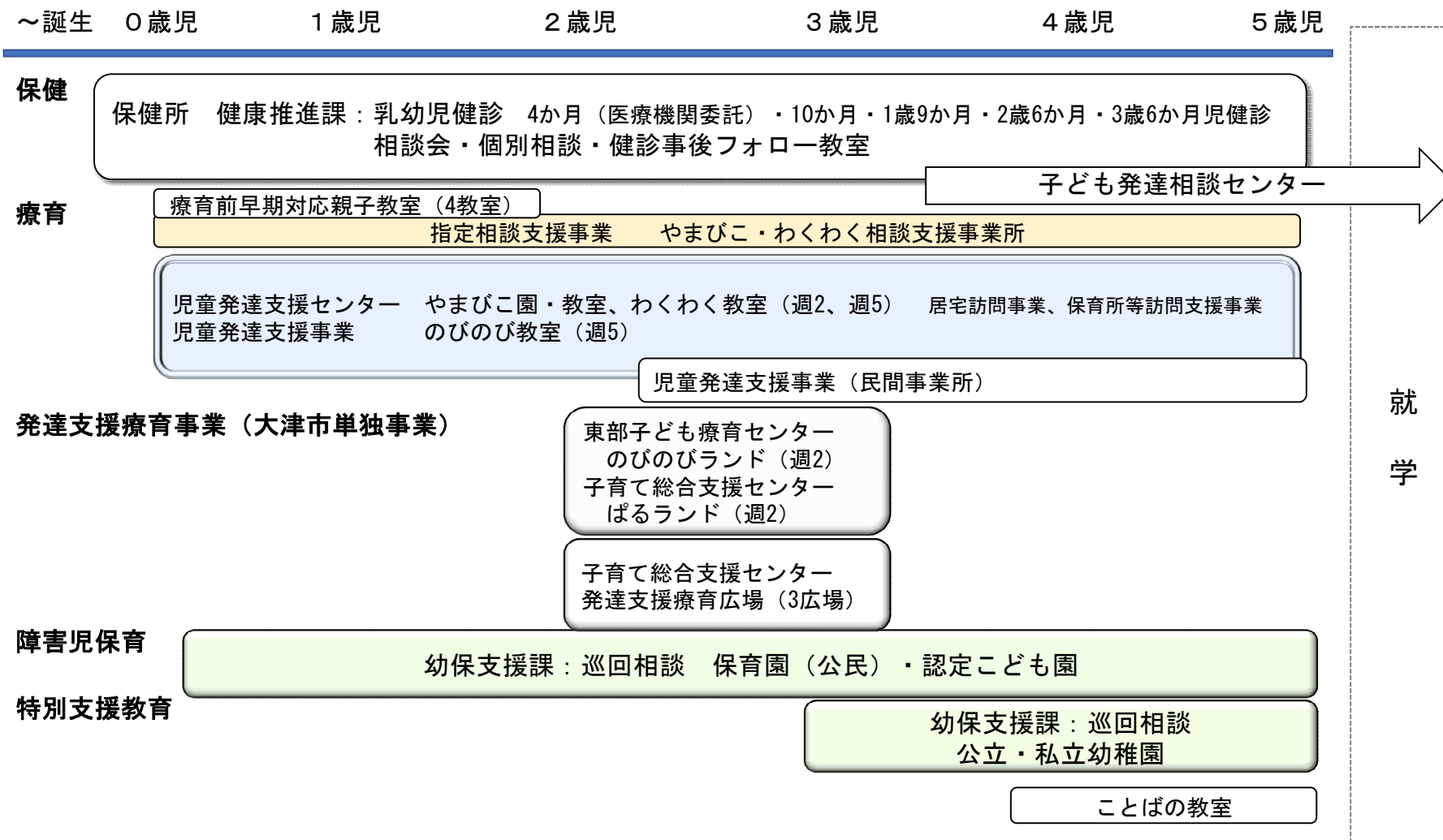
1	年度別・年齢別在籍児推移	14
2	入所時年齢別推移	15
3	進路状況推移	16

## 1 組織と役割

### 『療育と関係機関・組織との連携』



『乳幼児期の発達支援システム』



## 2 沿革

年度	療育関係	年度	関連事項
		1965	母子保健法が制定
		1968	大津市障害児父母の会からの請願を大津市が採択する(療育と健診の充実)
1973	発達相談員・保健師・ボランティアによる「母親教室」が開始(健康センターにて月2回)	1971	大津市民健康センターの設立
1974	大津市立心身障害者福祉センター(現 障害者福祉センター)の開設(におの浜)	1973	「保育元年」と称される障害児保育がスタート
1975	「親子教室」がスタート (心身障害者福祉センターにて、保育士1名)	1974	乳幼児健診大津・1974年方式 (「受診もれ、発見もれ、対応もれ」をなくす)
1977	「やまびこ教室」の開設(心身障害児通園事業)	1975	障害乳幼児対策・大津1975年方式 (乳幼児健診を中心とする早期発見、早期療育、保育園・幼稚園の保育・教育)
1981	「やまびこ園」の開設(精神薄弱児通園施設 やまびこ園週3回、やまびこ教室週1回)	1981	国際障害者年
1985	訪問療育の開始(週1回)	1982	大津市が「障害乳幼児対策を考えるシンポジウム」開催(「3つの鍵」「3つの留意事項」の確認)
1993	運営を大津市社会福祉事業団へ移管	1989	大津市総合保健センターの開設
2000	「やまびこ園・教室」新築移転(馬場) 運営を大津市に再移管 園は毎日通園になり定員10名増 教室は週1回から週2回へ	1997	母子保健法の改正(地域保健法施行) 大津市障害者福祉計画(おおつ障害者プラン)策定
2006	志賀町との合併(3月) 子ども療育センター「わくわく教室」が大津市立となり、下阪本以北はわくわく教室を利用	2000	大津市立やまびこ総合支援センター開設
2009	「わくわく教室」改修工事完了	2002	志賀町立子ども療育センター「わくわく教室」開設
2010	「わくわく教室」増設工事	2003	大津市障害者福祉計画改定 支援費制度がスタート
2011	「わくわく教室」定員5名増 東部子ども療育センター「のびのび教室」開設 児童デイサービス事業20名 発達支援療育事業20名	2004	「選べる福祉サービス滋賀特区」の開始(10月)
2012	法改正に伴い、「やまびこ園・教室」は児童発達支援センターに、「わくわく教室」「のびのび教室」は児童発達支援事業となる	2006	障害者自立支援法本格施行(10月) 総合保健センター移転 子育て総合支援センター「ゆめっこ」オープン 発達支援療育事業「ぱるランド」開設(10月)
2013	「のびのび教室」の発達支援療育事業にて3歳児親子教室開始	2007	大津市障害者福祉計画(おおつ障害者プラン)改定
2014	療育前親子教室が3療育に移管 計画相談・モニタリングの実施	2010	障害者自立支援法改正案成立
2021	「わくわく教室」が児童発達支援センターとなる	2012	障害者総合支援法成立 児童福祉法改正に伴い障害児支援の改変実施
		2013	障害者総合支援法施行
		2014	やまびこ相談支援事業所開設
		2015	子ども発達相談センター開設
		2021	わくわく相談支援事業所開設

障害の有無に関わらず、全ての子どもが発達する権利を持ち、それを実現していく責務が社会にあるという発達保障の理念に基づき、大津市の障害乳幼児対策は進められてきた。

1973年から75年には保育園・幼稚園における障害児保育が開始、乳幼児健診体制が確立、親子教室が開設され、「乳幼児健診・大津方式」「障害乳幼児対策・大津方式」一乳幼児健診における障害の早期発見・早期対応から療育教室での早期療育・保護者支援活動を経て、保育園・幼稚園での保育、教育につながる3つの柱を基本にしたシステムが確立された。

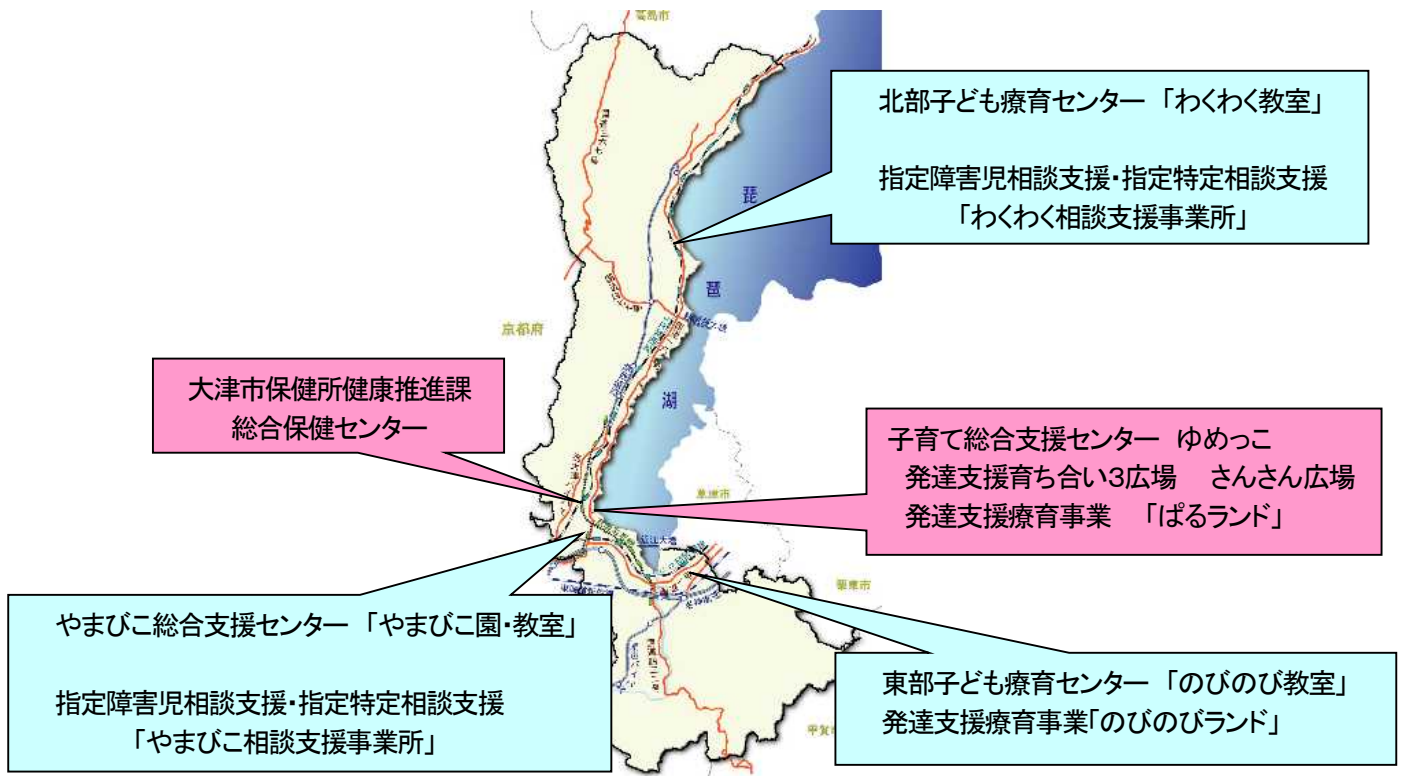
こうした障害乳幼児に対する発達支援システムの充実と実践の成果を基盤に、2006年には療育の対象を要発達支援児に拡大し、発達支援療育事業を開始した。また2015年子ども発達相談センターを開設し乳幼児期から中学生までの相談支援体制が整備された。現在は要発達支援児の早期発見・対応も含めたシステムの再構築に取り組んでいるところである。

このようなシステムにおいて、療育は、人との関係の中で自分づくりを支援することを大切にしながら、発達上の課題や困難について保護者と一緒に考える育児支援、発達支援の役割を担っている。

## 3 令和4年度の事業概要

施設名	やまびこ総合支援センター やまびこ園・教室	北部子ども療育センター わくわく教室	東部子ども療育センター のびのび教室
所在地	大津市馬場二丁目13番50号	大津市和邇中176番地の1	大津市萱野浦1番11号
事業形態	児童発達支援センター	児童発達支援センター	児童発達支援事業 20名(20名) 発達支援療育事業 20名(20名)
定員 (3月末在籍児数)	40名(60名)	20名(30名)	
目的	発達上の課題や困難について保護者と共に考え、早期に療育を進めることによって子どもの健やかな成長発達を援助する。		
入園時期と 在園期間	入園の時期は主に4月。その後は要望があれば対応している(10月まで)。多くは1年通園し、その後こども園保育園や幼稚園へ進む。各園との並行通園は行っていない。子どもの状況に応じて2年以上就学まで在園する子どももいる。		
登園回数	週5日(5クラス) 週2日(2クラス) 居宅訪問事業週1回	週5日(1クラス) 週5・2日(1クラス) 訪問含む 週2日(2クラス)	週5日(2クラス) 週2日(2クラス)
親子登園日	週5日クラスは週2日 週2日クラスは週1～2日	週5日クラスは週2日 週5・2日クラスは週1～2日 週2日クラスは週1日	週5日クラスは週2日 週2日クラスは週1日
クラス数	7クラス	4クラス	4クラス
保育時間	10:00～15:15		
食事	施設内にて調理	隣接の公立保育園で調理	施設内にて調理
保護者援助 活動	<p><b>援助活動の4つの柱(1. 親子保育/2. 学習会/3. 担任との話し合い/4. 自主活動)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>療育に参加し子どもと関わるなかで、わが子や周りの子どもの姿から、それぞれの成長を感じ喜びあうことや、子育ての手応えを得ることを大切にする。</li> <li>子育てを考えるさまざまな視点をテーマにした学習会を実施し、そのなかでわが子理解を深めたり、制度や施設についての知識を得たりして、子育てを考えあう場にする。</li> <li>個々の子どもの療育についての話や子どもの発達を共に確認し、保護者の理解が得られるように個別懇談やクラス全体での懇談会を実施する。</li> <li>保護者の主体的な活動を通して交流を深め同じ目的に向かって協力しあったり、得意なことを出しあったりしながら、お互いが高まり、生活を実りあるものにする。</li> </ol> <p>○その他の活動 ・年間行事の準備や参加 ・父母の会活動として自主的な取り組み</p>		
デイリー プログラム	<p>10:00 登園 視診 着替え 水分補給 朝の集まり クラスでのあそび</p> <p>11:30 排泄 手洗い 食事準備 食事(給食) (歯磨き) 着替え 昼寝・休息・あそび(子どもに応じて)</p> <p>14:30 おやつ 帰りの集まり</p> <p>15:15 降園</p>		
定期行事 定期健診	1回/月:身体計測・避難訓練 (誕生会:子どもの誕生日にあわせて行う) 2～3回程度/年:発達相談・健康診断・歯科健診・歯科指導		
地域との交流	近隣の保育園・こども園・幼稚園との交流保育		

送迎バス	マイクロバス3台 (①・②・③)	マイクロバス2台 (①・②)	マイクロバス2台 (①・②)
送迎学区	①唐崎 滋賀 長等 逢坂 ②富士見 晴嵐 石山 南郷 ③膳所 瀬田南 瀬田 瀬田東 瀬田北 平野	① 堅田 真野 真野北 小野 和邇 木戸 小松 ② 坂本 下阪本 日吉台 仰木の里東 仰木の里 雄琴 伊香立	① 瀬田南 瀬田 青山 田上 上田上 ② 瀬田北 瀬田南 瀬田東 瀬田
職員体制	園長:1名 代表保育士:1名 児童発達支援管理責任者:1名 保育士:27名 (正規11名、内1名はわくわくと兼務、会計年度16名) 発達相談員:1名 言語聴覚士:1名 保健師:1名 看護師:会計年度3名 管理栄養士:1名 調理員:5名(やまびこ園・教室以外の利用者も含む) 運転士:委託3名 医師:1名(びわこ学園から派遣) 理学療法士・作業療法士(びわこ学園から派遣) やまびこ相談支援事業所 相談支援専門員2名	所長:1名 児童発達支援管理責任者:1名 (代表保育士と兼務) 保育士:14名 (正規5名、内1名はやまびこと兼務、会計年度9名) 発達相談員:1名 看護師:会計年度2名 調理補助:1名 用務員:1名 運転士:会計年度1名、委託1名 医師:1名(びわこ学園から派遣) 理学療法士・作業療法士(びわこ学園から派遣) わくわく相談支援事業所 相談支援専門員1名	所長:1名 児童発達支援管理責任者:1名 (代表保育士と兼務) 保育士:13名 (正規4名、会計年度9名) 発達相談員:2名(火・水:1名 金:1名) 看護師:会計年度1名 調理員:1名 用務員:1名 運転士:委託2名 医師:1名(びわこ学園から派遣) 作業療法士(びわこ学園から派遣)





## 4 令和4年度3療育のまとめと課題

### 【共通の取り組み】

#### 『保育所等訪問支援事業』

目的:①療育教室を卒園した子どもが、安心して集団生活を送れるよう支援する。

- ②集団生活を送る上で様々な問題について、訪問支援員が園に一定期間継続して訪問し子どもに応じた支援や相談を行う。

実績:令和3年度卒園児1名・平成31年度卒園児1名(やまびこ園・教室の卒園児であり、対人面での課題および、知的面での遅れのある子どもの訪問を行った)

総括:今年度の対象児2名(民間こども園1名、民間保育園1名)共に、保育のなかでの関わり方やあそびの作り方、友だち関係などについて、手立てを相談したり、一緒に考えたり育ちを共有したりしてきた。

訪問後は、保護者に園での様子や援助したこと、担任と話したことなどを伝えることで、保護者の安心につながっていった。

#### 『療育前早期対応親子教室』

目的:① 1、2歳児で療育が必要と判断されたものの、発見や対応のタイミングで療育利用につながらなかった子どもを対象に、子ども達のあそびと保護者の相談の場を保障する。

- ② 保護者にとっては療育の場や発達支援制度について知り、次の進路選択時に主体的な選択ができるよう支援する。

- ③ 低年齢児療育前親子教室「ふちらっこ」(やまびこ園・教室で実施)の子ども達のあそびの保障をしたり、保護者同士のつながりを作ったりする。

実績:5月スタートで月2回(年間18回予定で18回実施)、午前中に実施する。

子ども達が、体を使っておとなと一緒に遊ぶなかで、“たのしい”“もっとな”と気持ちを膨らませること、そしておとなと共感して遊ぶ楽しさを感じて、人への期待を膨らませることを大切に過ごした。保護者に向けては、発達支援制度や療育内容に

ついて聞く機会や保護者同士の語らいの場をもった。

ふちらっこは、5月スタートで月1回(年間10回予定で10回実施)午前中に実施する。延べ7組の親子が参加。一人一人の子どもに合わせたあそびを楽しむとともに子育てについて保護者の悩みを聞き、子どもの育ちを一緒に考えた。

総括:今年度、ふちらっちは延べ13名入室。家庭の事情や保護者の就労などにより3名が途中退室。他8名が令和5年4月からやまびこに入園した。その他2名はこども園に入園。わくわくっこは延べ8名で、2歳児1名は保育園へ、他7名はわくわく教室に入園。のびのびっこは11名のうち9名がのびのび教室、1名がランドに入園し、1名はのびのびっこを継続される。

ふちらっこは、延べ8名入室。保護者の就労のため1名が退室。6名が令和5年4月からやまびこ園・教室に入園した。他1名は保護者の就労により保育園に入園。

健康推進課やすこやか相談所との連携では、保護者の状況や進路について情報共有し検討するなどした。

『療育前早期対応親子教室』に参加される親子は、子育ての悩みを一人で抱えておられる方も多い。スタッフと話したり、座談会を通して同じ思いの保護者がおられ共感し合ったりすることで、安心される姿もあり、保護者支援としても大きな役割があると感じる。

#### 『療育体制の整備』

本市では平成30年3月に策定された「おおつ障害者プラン(大津市障害福祉計画(第5期計画)・大津市障害児福祉計画(第1期計画))を具体化すべく、自立支援協議会乳幼児部会で、平成31年3月に『療育体制の整備に関する方針』をまとめた。

その方針の中で今年度は、東部子ども療育センターの拡充を見込んでいたが、工事が思うように進まず、来年度への持越しとなる。令和5年度11月には完成予定のもよう。引き続き残っている課題としては、①北部の施設問題 ②医療的ケア児の支援(登園条件整備) ③地

域支援(療育を経過せずに就園している児童の増加に向けて、保育園幼稚園子ども園在籍の障害児や保護者への併行通園などの支援の検討) ④地域支援(学齢期へのつなぎ、学齢期障害児の相談支援体制)がある。そのなかでも、③の地域支援において、支援を要する児童の保護者の就労支援については、早急に考えていかなければならない課題となっている。保育所等訪問支援事業の拡充については今年度医療的ケア児に限らず配慮を要する支援児(家庭支援含む)へも広げたことで、来年度の拡充へと繋いでいきたい。

また、児童福祉法の改正に伴い、社会情勢に即したシステムなどの再構築に取り組んでいきたい。

### 『療育実践報告・交流会の実施』

年報の報告会として始めた『療育実践報告会』であるが、療育内容について伝えることに加え、保育の状況の情報交換をしたり、子どもの育ちの捉えや理解を深めたりする機会として実施している。

近年は保育園で障害児保育制度を利用している子どものうち、約7割の子どもが療育を経過せずに入所している。また、市立幼稚園においては3歳児保育が令和2年度より完全実施されたことから、療育を経過せずに就園する割合は今後も増加していくことが予想される。そのようななかで、療育・保育園・認定こども園・幼稚園が同じ視点で子ども理解を深め、同じ思いで適切な支援が行えることを目的とし、子どもの発達支援に携わる仲間として気軽に子どもの育ちについて語り合えるように、北部・中部・南部の3つのエリアに分かれて実施し、参加園相互の交流の場として、地域でのつながりを深めている。

また見学会を実施し、実践報告と見学を合わせたの学びを深めていった。“体験”ではなく“見学”ということで、子どもと職員との関わりを客観的に見てもらい、環境についてや子どもの願いを考えていくきっかけになった。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各療育により時期や方法を考慮しながらの開催となった。

### 【やまびこ園・教室】

＜療育見学会＞ 7月25日、26日、27日それぞれ午前中の予定だったが、感染症の感染状況が広がっていたため、中止となる。

＜実践報告・交流会＞ 7月26日(火)⇒11月22日(火)

15時30分～17時 9名

#### ○実践報告

『わたし、なんでもできるのよ』

～訪問療育5年目のももちゃんから学んだこと～

『自分のつもりを受けとめられて』

～好きなあそびが広がって、

人と関わることを楽しむ～

#### ○助言 別所発達相談員より

『療育や保育で大切にしたいこと』

～一人一人のつもりに寄り添う～

#### ○グループ交流

実践報告の後、外部とやまびこ職員が交じりあって、2グループに分かれ、交流を行う。

事例の中で共感することや、さらに深く聞きたいことなどをグループ交流で意見交換し交流を深めていった。一人一人の子どもに寄り添いながら子どもの願いを探ったり、汲み取ったりすることの難しさや大切さを感じる機会になった。また民間保育園・幼稚園との貴重な情報交流の場にもなっている。

### 【のびのび教室】

＜療育見学＞7月26日、27日、28日、29日、8月2日

10月4日、5日、6日、7日、11日、12日、13日

9時45分～12時30分 予定18名

参加9名

＜実践報告・交流会＞11月15日(火)

14時30分～17時 5名

#### ○療育見学

見学は当初7月26日～8月2日で計画し、希望者は13施設18名であった。しかし、感染予防のため辞退される園もあり4施設5名の参加となったため、10月4日～13日にも療育見学を行った。秋の見学では、各園の体制が取りにくかったり、予定が重なったりすることが多く、3施設4名の参加となった。今年度は児童館から保護者支援や子どもへの関わり方を学びたいとのことで見学希望が溢り共に学び合えた。

#### ○実践報告・交流会

テーマを『この子の願いはなんだろう？～内なる思いに寄り添って～』とし、療育からの話題提供と北部子ども療育センターの平野発達相談員の講話にて学

びがあった。見学会や療育体験の時期がずれたことから外部からの参加は4名(みどりこども園、レイモンド瀬田こども園、やまびこ園・教室)と少なかったが、子どもと関わるなかでの悩みの共有と共に、子どもの内面に気付き、関わっていくことの大切さを園の職員と共に学ぶ良い機会になった。

#### 【わくわく教室】

<療育見学> 新型コロナ感染症拡大のため、中止

<実践報告・交流会> 11月18日(金)

13時30分～16時45分 17名

#### ○実践報告

『人に気持ちを向け始めただいちゃん』

『安心できる人を支えに』

#### ○講話 平野発達相談員より

『信頼できる人と育つ』～発達の視点から～

#### ○グループ交流

療育見学を18日の午前中に予定していたが、新型コロナ感染症拡大のため中止となった。就園先の園から子どもの姿を見てもらえる大切な機会ともなっているので、次年度は開催していきたい。昼からは実践報告と発達相談員の講話をもとに、グループ交流でそれぞれの園での経験談や悩みを出し合った。立場の違う先生同士で交流することで、いろいろな視点で考えを出し合って意見交流ができ、有意義な時間となった。子ども理解や保護者支援について、大切なことを共に考え学び合うことができ、療育と保育をつなぐ貴重な機会となっている。

## 5 令和4年度在籍児の状況

### (1) やまびこ園・教室

#### クラス別在籍児一覧

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
ぱんだ組					5	3(1)						1	5	4(1)	9(1)
らいおん組					6(2)	1	1						7(2)	1	8(2)
こあら組			1		4(1)	3							5(1)	3	8(1)
うさぎ組			3	3(1)		2							3	5(1)	8(1)
くじら組(訪問舎)			1	1	2	1	1	1			1	1	5	4	9
ぺんぎん組					4	4(1)			1(1)				5(1)	4(1)	9(2)
つばめ組					5(2)	4(1)							5(2)	4(1)	9(3)
合計			5	4(1)	26(5)	18(3)	2	1	1(1)		1	2	35(6)	25(4)	60(10)

※年度途中退園2名、また週2日登園から週5日登園変更に伴い、クラス移動1名。

※数字はR4年度の契約児数、( )内は年度途中の入園児数

#### 障害・状態像別一覧

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
発達の遅れ			1		1	1							2	1	3
発達の遅れ・コミュニケーションの課題					15	9	1						16	9	25
発達の遅れ・コミュニケーション・行動コントロールの課題					5	1							5	1	6
コミュニケーション・行動コントロールの課題(単独、重複含む)					2	3							2	3	5
脳性まひ															
染色体異常				4	2	2		1			1	1	3	8	11
その他			4		1	2	1		1			1	7	3	10
合計			5	4	26	18	2	1	1		1	2	35	25	60

### (2) わくわく教室

#### クラス別在籍児一覧

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
ぺんぎん組					7(1)	1							7(1)	1	8(1)
らっこ組	1		1	1	2	1					2	1	6	3	9
くじら組					5	2							5	2	7
いるか組					5(5)	2(2)							5(5)	2(2)	7(7)
合計	1		1	1	19(6)	6(2)					2	1	23(6)	8(2)	31(8)

※数字はR4年度の契約児数、( )内は年度途中の入園児数(いるか組は5月から開始) 年度途中退園1名

障害・状態像別一覧

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
発達の遅れ					2	1							2	1	3	
発達の遅れ・コミュニケーションの課題					5	1							5	1	6	
発達の遅れ・コミュニケーション・行動コントロールの課題					2								2		2	
コミュニケーション・行動コントロールの課題（単独、重複含む）					10	4							10	4	14	
脳性まひ												1		1	1	
染色体異常			1									1		2	2	
その他（先天性疾患、重度重複障害）	1			1								1		2	1	3
合計	1		1	1	19	6						2	1	23	8	31

※医療ケア児 4名

(3) のびのび教室

クラス別在籍児一覧

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
りんご組（教室）			1		7 (2)	2							8 (2)	2	10 (2)
ぶどう組（教室）					7 (1)	3 (1)							7 (1)	3 (1)	10 (2)
もも組（ランド）					9 (1)								9 (1)		9 (1)
めろん組（ランド）					6	3 (1)							6	3 (1)	9 (1)
合計			1		29 (4)	8 (2)							30 (4)	8 (2)	38 (6)

※数字はR4年度の契約児数、( )内は年度途中の入園児数。

障害・状態像別一覧

	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		全体		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
発達の遅れ					3	2							3	2	5
発達の遅れ・コミュニケーションの課題			1		20	6							21	6	27
発達の遅れ・コミュニケーション・行動コントロールの課題					3								3		3
コミュニケーション・行動コントロールの課題（単独・重複含む）															
コミュニケーションの課題					3								3		3
その他															
合計			1		29	8							30	8	38

## 6 進路指導

### 【共通の取り組み】

大津市の療育教室では、以下の3点を基本に進路指導を実施している。

①子どもの成長・発達と障害、今後の課題を保護者と確かめながら、どのような生活の仕方や文化がわが子に合うのか考える。②次年度の進路ばかりでなく子どもの少し先の将来の見通しを持って考える。③保護者の希望、生活設計、主体的条件、家庭状況、地域特性を考慮しつつ、保護者が主体的に納得して選択していけるようにする。具体的には下記の内容で進路指導をすすめている。

- ・卒園児保護者から就園の実体験を聞く機会を提供する。  
…「卒園児保護者と語る会」
  - ・保育園・認定こども園・幼稚園それぞれの特色や取り組み内容を知らせる。 …「就園集団指導」
  - ・適切な進路決定ができるための支援をする。  
…発達相談、個別懇談
  - ・通園可能範囲の保育園や認定こども園、学区の幼稚園を見学し説明を聞く機会を提供する。  
…園見学
  - ・職員間では、一人一人の子どもとその家庭の状況を確認しつつ支援の方向性を話し合い、整理した進路指導の課題を関係機関に発信する。  
…進路委員会
  - ・就園先決定後、就園する先の保育園・認定こども園・幼稚園から来園いただき、療育場面での実際の子どもの様子を見てもらう機会を設け、具体的な姿をとおして引継ぎを実施する。 …引継ぎ
  - ・卒園後のフォローの体制を案内する。  
…卒園後についてのオリエンテーション
- <進路指導年間スケジュール>

実施月	内容
6月～7月	卒園児保護者と語る会とOBと交流する会
6月～7月	就園についての学習会 (幼児政策課・保育幼稚園課の協力)
8月～9月	園見学オリエンテーション
9月～10月	保護者園見学(保育園・認定こども園・幼稚園) 進路に関する個別懇談
10月～11月	OBと交流する会
1月～3月	進路先の園との引き継ぎ
3月	卒園後フォロー体制のオリエンテーション

\*保護者の意向を踏まえ進路委員会で随時検討する。

### 『やまびこ園・教室』

年度年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
保育園(公立)	0	0	12	1	1	0	14
保育園(民間)	0	1	12	0	0	0	13
こども園(民間)	0	0	7	0	0	0	6
幼稚園(国・公立)	/	/	6	0	0	0	6
幼稚園(民間)	/	/	0	0	0	0	1
養護学校	/	/	/	/	/	2	2
療育継続	0	8	4	2	0	0	14
転出	0	0	2	0	0	0	2
計	0	9	43	3	1	2	58

### 『わくわく教室』

年度年齢	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
保育園(公立)	1	7	0	0	0	8
保育園(民間)	0	3	0	0	0	3
こども園(民間)	0	6	0	0	0	6
幼稚園(公立)	/	7	0	0	0	7
幼稚園(民間)	/	1	0	0	0	1
養護学校	/	/	/	/	3	3
療育継続	0	1	0	0	0	1
転出	0	2	0	0	0	2
計	1	27	0	0	3	31

### 『のびのび教室』

年度年齢	1歳児	2歳児	3歳児	計
保育園(公立)	0	2	0	2
保育園(民間)	0	10	0	10
こども園(民間)	0	11	0	11
幼稚園(公立)	/	13	0	13
幼稚園(民間)	/	0	0	0
療育継続	1	0	0	1
転出	0	1	0	1
計	1	37	0	38

一昨年度、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等のため、就園についての学習会を1～2クラス単位で開催し、やまびこ園・教室から、わくわく教室とのびのび教室にオンライン配信を行った。

園見学では、見学希望が多数のところは、受け入れ園の協力のもと、時間や日を分散して見学させてもらった園もあった。

近年、療育の在籍年齢は2歳児が中心であるが、社会状況の変化に伴い地域の子どもの保育園・こども園への就園率の増加、発達支援の制度利用や要配慮の子ども達の増加、さらに全体的に保育士不足であることから、3歳児から保育園・こども園へ入所することが年々厳しくなっている。今後も、大津市全体の就学前の子どもの施策の動向と連動させた進路指導を行っていく必要がある。

## 7 相談支援

### 『令和4年度実績』

就学前の子どもたちの計画相談は、概ね公立のやまびこ相談支援事業所とわくわく相談支援事業所で担っている。対象は、平成26年やまびこ相談支援事業所開設当初は大津市立3療育(やまびこ園・教室、わくわく教室、のびのび教室)の利用児であったが、平成29年度以降、民間の児童発達支援の利用児が急増した。令和2年度以降は、民間の児童発達支援の利用児数もほぼ横ばいとなっている。

令和3年8月にわくわく相談支援事業所を開設したことで、より身近なところで、地域の状況をよく知るスタッフが相談を受けとめることができる良さを感じている。

計画作成児童数の推移 (単位:人)

年度	R1		R2		R3		R4	
相談支援事業所名			やま	わく	やま	わく		
			びこ	わく	びこ	わく		
大津市立3療育	109	113	79	31	79	30		
民間児童発達・県立小児保健療育部	73	89	83	16	76	19		
障害福祉サービス					4	3		
計	182	202	162	47	155	50		
			209		205			

### 『相談支援で感じる保護者のニーズ』

大津市立3療育につながるケースは、すこやか相談所の保健師や見学を受けた3療育から連絡を受けて関わりを開始する。一方、民間の児童発達支援の利用児については、保護者から直接連絡を受けて、相談を開始することになる。すでに通所するところを決めてこられる場合もあれば、情報を得ることから求めてこられる場合もある。その時点で保護者がよく口にされるのは、児童発達支援など利用できる支援に関する情報をもっと早く知りたかったという思いである。とりわけ就園後に支援の利用を決められたケースは、園での支援以外の情報が入りにくく、保護者自らがインターネットなどで探して知ったと言われることが多い。就学が近づく4.5歳児での相談が多いのは、自分の子どもの状態をどう捉えたらいいのかという疑問や、少しでも本人の力を伸ばすためにできることはないかという願いからであることが多い。保護者のそうした思いを発信し相談できる場が身近にない問題を感じる。中にはいろいろと

リサーチするなかで、児童発達支援などの支援、病院などでの訓練、診断、療育手帳などの情報を得て、何から始めたらいいのかと混乱されていることもある。保護者の心配事や願いをていねいに聞きとり、一緒に整理していき、子どもにとって望ましい支援を選択していくための相談が必要である。

また、未就園や不登園になっているケースや本人の発達支援以外に、きょうだいのこと、家族関係のこと、保護者ご自身のことなど、他に深刻な悩みを抱えておられるケースも少なくない。支援の手が行き届いていない状況が続いているケースでは、相談を受けた私たちも、どこと連携したらいいのか、何からどう打開していったらいいのかを模索しながら、相談支援から提案や連携の発信を行っていった。

転入のケースの場合は、前住所地での支援のしくみとの違いに戸惑われ、窓口がわかりにくいことや一本化していないことに対して意見をいただくこともある。市民にわかりやすいしくみづくりや情報提供が必要であると感ずる。

児童福祉法改正により、児童発達支援センターが地域の発達支援の拠点と位置づくこと、支援の入口としての相談の役割を担うことが強調されている。単なる支援の利用のための計画相談だけではない多様な相談のニーズも感じており、児童発達支援センターの相談機能や関係機関との連携の充実が求められている。

### 『医療的ケア児の就学時のつなぎ』

今年度は医療的ケアを要する児や重症心身障害児が5歳児にたくさんいて、児童発達だけでなく、短期入所や入浴時などのヘルパーを利用しているケースも多かった。就学の時点で、生活が大きく変わることから、就学後の生活を共にイメージしながら、放課後等デイサービスの利用や訪問看護も含む支援の組み直しを考えていく必要があった。就学後の支援に関する保護者への情報提供は早めに行い、相談支援の引き継ぎの回数を重ねて行った。就学後すぐの時期に、これまで関わっていた関係者と学校や新たに関わる支援機関、さらに児を知るPTや病院のワーカーが参加して、保護者も含めて関係者会議を行ったケースもある。関わってきた人がそれぞれの立場でこれまでのこと、今後予想されることを発信し、保護者や新たに関わる関係者で共有できたことで意味あるものとなった。



## 1 年度別・年齢別在籍児推移

## 『やまびこ園・教室』

(単位:人)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	利用児合計
平成30年度 (2018)	0	8	24	26	3	0	61
令和元年度 (2019)	0	8	27	16	4	3	58
令和2年度 (2020)	0	8	46	5	1	4	64
令和3年度 (2021)	1	9	42	4	3	1	60
令和4年度 (2022)	0	9	44	3	1	3	60

※ 利用児合計数は、年度中の延人数。

## 『わくわく教室』

(単位:人)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	利用児合計
平成30年度 (2018)	0	4	19	7	0	0	30
令和元年度 (2019)	0	4	25	3	0	0	32
令和2年度 (2020)	0	5	24	3	0	0	32
令和3年度 (2021)	0	3	26	1	3	0	33
令和4年度 (2022)	1	2	25	0	0	3	31

※ 利用児合計数は、年度中の延人数。

## 『のびのび教室』

(単位:人)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	利用児合計
平成30年度 (2018)	0	0	19	20	0	0	39
令和元年度 (2019)	0	2	23	14	0	0	39
令和2年度 (2020)	0	1	38	0	0	0	39
令和3年度 (2021)	0	4	36	0	0	0	40
令和4年度 (2022)	0	1	37	0	0	0	38

※ 利用児合計数は、年度中の延人数

2 入所時年齢別推移

『やまびこ園・教室』

(入園時年齢 \* 継続児は4月1日年齢) (単位:人)

年度		年 齢 (歳)											年度中異動			
		計	0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0		5:6	6:0	
平成30年度 (2018)	4月 1日現在前年度継続児数	21			1	1	6	7	4	2						9月転出 1人
	4月 組入園児数	40		2	5	6	10	10	6	1						
	10月 組入園児数	0														
令和元年度 (2019)	4月 1日現在前年度継続児数	20				2	2	1	8	2	2	3			7月転出 1人	
	4月 組入園児数	36			6	9	14	5	2							
	10月 組入園児数	2		2												
令和2年度 (2020)	4月 1日現在前年度継続児数	14				2	5	2			1	2	2	6月入所 1人 7月転出 1人		
	4月 組入園児数	44		3	5	20	13	2	1							
	6-10月 組入園児数	6					5	1								
令和3年度 (2021)	4月 1日現在前年度継続児数	13			1	2	2	4		3			1	5月入所 3人 6月入所 1人 7月入所 4人 9月入所 4人 10月入所 3人		
	4月 組入園児数	32		1	5	14	12									
	5-10月 組入園児数	15	1	1	10	3										
令和4年度 (2022)	4月 1日現在前年度継続児数	16			1	2	6	2	1	1		3		6月入所 3人 退所2人 7月入所 3人 8月入所 2人 9月入所 1人		
	4月 組入園児数	35		3	4	14	14									
	5-10月 組入園児数	9			1	3	3	2								

『わくわく教室』

(入園時年齢 \* 継続児は4月1日年齢) (単位:人)

年度		年 齢 (歳)											年度中異動	
		計	0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0		5:6
平成30年度 (2018)	4月 1日現在前年度継続児数	3			1			2						6月入所1人
	4月 組入園児数	26			1	10	10	5						
	10月 組入園児数	1				1								
令和元年度 (2019)	4月 1日現在前年度継続児数	3					2		1				6月入所1人	
	4月 組入園児数	28		2	3	10	11	2						
	10月 組入園児数	1					1							
令和2年度 (2020)	4月 1日現在前年度継続児数	7				2	2	3					10月入所2人	
	4月 組入園児数	23		1	4	7	11							
	10月 組入園児数	2					2							
令和3年度 (2021)	4月 1日現在前年度継続児数	9			1	4	1			3			6月入所2人 7月入所1人 11月入所1人	
	4月 組入園児数	20		3	5	12								
	10月 組入園児数	4			4									
令和4年度 (2022)	4月 1日現在前年度継続児数	3									3		5月入所4人 6月入所2人 7月入所2名	
	4月 組入園児数	20			1	4	9	4	2					
	10月 組入園児数	8				3	5							

『のびのび教室』

(入園時年齢 \* 継続児は4月1日年齢) (単位:人)

年度		年 齢 (歳)											年度中異動	
		計	0:6	1:0	1:6	2:0	2:6	3:0	3:6	4:0	4:6	5:0		5:6
平成30年度 (2018)	4月 1日現在前年度継続児数	10					1	6	3					
	4月 組入園児数	27				7	9	7	4					
	10月 組入園児数	2					1	1						
令和元年度 (2019)	4月 1日現在前年度継続児数	9						3	6				8月入所 1人	
	4月 組入園児数	27			2	8	12	3	2					
	10月 組入園児数	3					1	2						
令和2年度 (2020)	4月 1日現在前年度継続児数	1				1							6月入所 3人 7月入所 1人 8月入所 4人 10月入所 1人	
	4月 組入園児数	29			1	18	10							
	6-10月 組入園児数	9			3	5	1							
令和3年度 (2021)	4月 1日現在前年度継続児数	0											5月入所 1人 6月入所 4人 7月入所 2人 9月入所 3人	
	4月 組入園児数	30			2	12	16							
	5-10月 組入園児数	10			1	4	4	1						
令和4年度 (2022)	4月 1日現在前年度継続児数	4					4						6月入所 3人 8月入所 1人 9月入所 1人 10月入所 1人	
	4月 組入園児数	28			1	13	14							
	6-10月 組入園児数	6				2	4							

## 3 進路状況推移

## 『やまびこ園・教室』

(単位:人)

年 度	公立保育所	民間保育所	認定こども園	公立幼稚園	私立幼稚園	特別支援学校	転 出	その他	継続児	計
平成30年度 (2018)	12	8	4	10	0	0	3	3	20	60
令和元年度 (2019)	6	10	7	15	1	3	2	0	14	58
令和2年度 (2020)	12	6	12	14	2	4	1	0	13	64
令和3年度 (2021)	13	5	12	6	1	1	3	3	16	60
令和4年度 (2022)	14	12	6	5	1	2	2	2	14	58

## 『わくわく教室』

(単位:人)

年 度	公立保育所	民間保育所	認定こども園	公立幼稚園	私立幼稚園	特別支援学校	転 出	その他	継続児	計
平成30年度 (2018)	9	8	3	5	2	0	0	0	3	30
令和元年度 (2019)	3	12	5	4	1	0	0	0	7	32
令和2年度 (2020)	4	2	3	13	1	0	0	0	9	32
令和3年度 (2021)	11	1	8	10	0	0	0	0	3	33
令和4年度 (2022)	8	3	6	7	1	3	2	0	1	31

## 『のびのび教室』

(単位:人)

年 度	公立保育所	民間保育所	認定こども園	公立幼稚園	私立幼稚園	特別支援学校	転 出	その他	継続児	計
平成30年度 (2018)	3	7	3	15	2	0	0	0	9	39
令和元年度 (2019)	6	10	3	19	0	0	0	0	1	39
令和2年度 (2020)	3	10	2	18	2	0	3	1	0	39
令和3年度 (2021)	4	4	12	13	0	0	3	0	4	40
令和4年度 (2022)	2	10	11	13	0	0	1	0	1	38